

You Tube
録画中継は
こちらから

山　端　　博
（黎明親和会）

中央病院の強みを生かした戦略的な診療報酬の加算を

取得できる加算は獲得し経営改善を推し進める

問　令和７年度病院事業会計決算では、入院や外来の患者数、医業収益等の実績から経営努力の成果が表れていると感じるが、市としての評価と収支改善に寄与した要因をどのように分析しているか。

答　純損失は約１億6,000万円となり、前年度から約９億1,000万円の収支改善となりました。経営アドバイザーの提言を契機に経営改善チームを立ち上げ、全職員が一丸となって取り組んだ成果であると考えます。

問　高騰する経費に対し、具体的にどのようなコスト削減策を実施したのか。

答　エレベーター保守などの委託契約の見直しや、院内保育所の利用実績を踏まえた開所日の見直し、他院との診療材料の共同調達等により経費を削減しています。

問　人材確保と人件費比率の目標設定55％のバランスをどう取るのか。

答　適正な給与水準の維持は、担い手である医療従事者のモチベーション維持や人材確保に直結するため、給料の引下げは最終手段と考えています。まずは診療報酬の増加に直結する新たな加算項目の取得等による増収と業務の見直しによる費用削減によって収支均衡を目指します。

問　国の制度改正に受け身にならず、中央病院の強みを生かして戦略的に診療報酬の加算を獲得していくための道筋は。

答　他院への診療応援による「医療提供機能連携確保加算」を10月から開始した場合、半年間で約1,600万円の増収が見込まれます。また、手術件数等の複数の要件を満たすことで年間約１億１千万円の増収が見込める「急性期総合体制加算」の取得も目指しており、取得できる加算は獲得して経営改善を推し進めます。



You Tube
録画中継は
こちらから

小　川　洋　平
（自民公明クラブ）

青い森紅サーモンふるさと納税の返礼品に

出品に向けて調査を進める

問　青い森紅サーモンについて、地域資源、地域ブランドとしてどのように認識しているか。

答　全国的に需要の高いサーモンを県の特産品にすることを目指し、本市にある地方独立行政法人青森県産業技術センター内水面研究所が開発したものであり、他のサーモンに比べ身が鮮やかで美しい紅色であることやうまみも強く、良質な肉質が特徴です。本市においてもブランド化の推進に努めてきましたが、その存在や魅力が市民に十分に浸透しているとは言えず、認知度の向上とさらなる消費拡大が課題であると認識しています。今後は、市内で開催されるイベント等において積極的なＰＲ活動を展開するなど、多くの市民に魅力を知っていただく機会を創出したいと考えています。

問　ふるさと納税の返礼品とする考えは。

答　他自治体において返礼品としている事例があるため、市内の事業者から情報収集し、出品に向けた可能性を調査していきます。

問　県が管理する主要地方道田代十和田線は、観光、物流、地域間交流のための重要な路線であるため、通年利用または冬期閉鎖の早期解除を目指すべきと考えるが、市の認識は。

答　相当量の積雪に加え、山側のり面上部には春先まで雪が残り、雪崩のおそれがあることから、除雪作業を前倒ししても安全な通行の確保や解除を大幅に早めることは困難であると県から伺っており、冬期閉鎖の解除は県において安全確保が確認できた時点で可能な限り早期に行われているものと認識しています。

問　早期開通に向け県に要望する考えは。

答　通年利用や今以上の早期解除は、実現が困難であると伺っていることから、県への要望活動は考えていません。